

金城次郎館 簡介

金城次郎は沖縄県最初の琉球陶器の人間国宝(国指定重要無形文化財保持者)です。1911(明治 45)年に生まれ、1985(昭和 60)年に人間国宝に認定され 2004(平成 16)年に亡くなりました。その人生のほとんど 80 年間は、琉球陶器の製作にささげられました。少年の頃から労働実作を通して、伝統的な壺屋の陶技のすべてを体得し、それが人間国宝の認定につながりました。その轆轤の技、成形と施釉の多様さは、河井寛次郎や濱田庄司も高く評価するところでした。

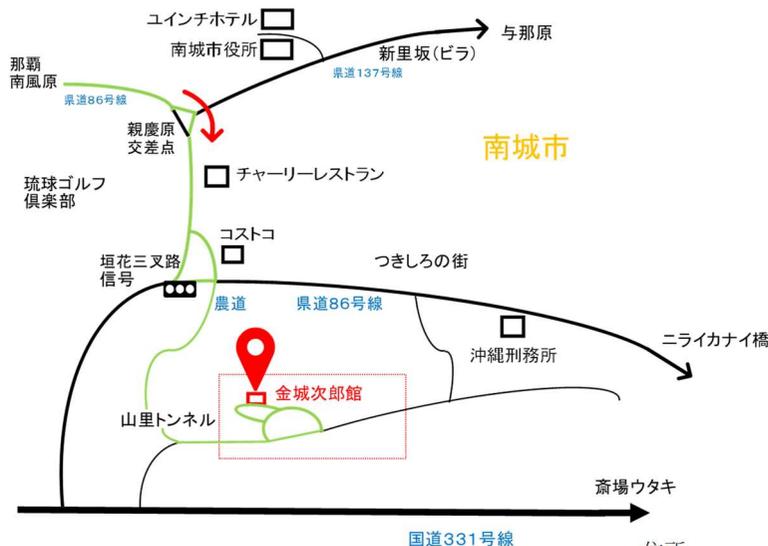
金城次郎館は、金城次郎の壺屋時代の作品を中心に約 1000 点を蒐集所蔵し、金城次郎の業績を広く顕彰すると同時に、琉球陶器製作に携わる次の世代の人びとがその作品から学び、将来の作陶の糧とすることができることを目標に設立された私立美術館です。このために、出版活動をはじめ年間四回の展示替え、ギャラリーでの個展などをおこなっております。



金城次郎館



SINCE 2023
NANJO, OKINAWA



南城市知念山里 67
この場所から掲示板に従って
お越しください。(徒歩3分)

住所 〒901-1515 沖縄県南城市知念山里 71-1
連絡先 久高民藝店 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志 2-3-1
TEL/FAX: 098-861-6690
E-mail kudaka-mingeiten@outlook.jp

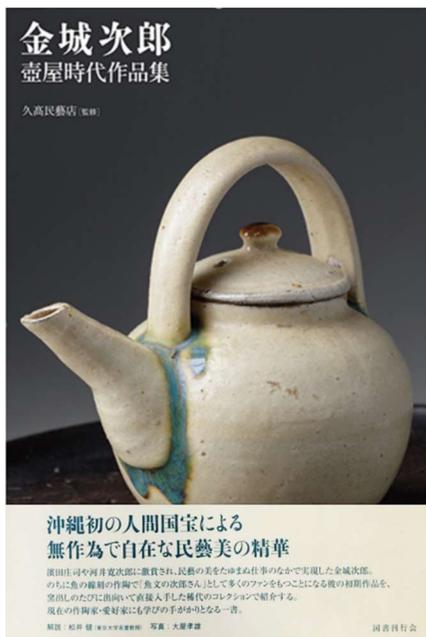
OPEN 毎週土・日曜日 12:00-17:00



建物外観



エントランス



金城次郎館 図録
『金城次郎 壺屋時代作品集』

陶 歴

- 1911年 沖縄県真和志村与儀に生まれる
- 1925年 新垣榮徳の工房で陶工見習いとして働く
- 1946年 壺屋に工房をもち独立
- 1969年 日本民藝館展にて『三彩盒子』他が日本民藝館賞受賞
- 1972年 読谷村座喜味に移住し窯を開く
- 1985年 国指定重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される
- 2004年 12月24日死去 享年93歳



展示室